学校番号	120

令和3年度　　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅠ	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「スポーツⅠ」における、採点競技や測定競技は、それぞれの競技に定められたルールや条件、また規制がある条件下の中で、競技の出来栄えや時間、距離、評価を競い合う特性があると言える。したがって「スポーツⅠ」は個々に適した目標や課題を自ら適切に設定する事により、その課題を克服するために練習を取り組み、その課題を解決する事による達成感を手に入れて欲しい。

２　学習の到達目標

採点競技及び、測定競技の専門的なルールや競技の理解と、個人種目における高度な技能習得を目指した主体的・合理的・計画的な実践や思考を通して、自らにおける課題解決や失敗から得る事を通して、将来的には生涯を通してスポーツの振興発展にかかわる事が出来る資質や能力を育む。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	採点競技及び測定競技を通じて、勝敗の冷静な受け止め、規制の中でのルールの必要性、個々の自己解決能力の育成や仲間同士の合意形成が出来るようにする。また、危険を予見し回避行動がとれるようにする	課題の設定や情報の分析及び適切な取捨選択、自他の活動評価、目標の修正や練習計画の組み立てが出来るようにする	採点競技及び測定競技の楽しさや喜びを実感すると共に、個々の能力や適性に応じて種目、競技を選択し、自己の能力を最大限に発揮し、専門的技術と視野を習得させる	技術や競争における、作戦・技術・泳法の高め方や、合理的且つ効率的な練習計画の組み立て、審判法や競技会の企画・運営等、競技者のみならず運営者の見解も理解する事が出来る
評価方法	受講態度の観察 技能観察 技能テスト	受講態度の観察 技能観察 技能テスト	受講態度の観察 技能観察 技能テスト	受講態度の観察 技能観察 技能テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	陸上競技	・陸上競技 短距離走 走幅跳び ハードル走 ジャベリックスロー （ターボジャブ使用）	○	○	○	○	a:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めること、よい演技を讃えようとすること、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:各種目の特性に応じた、各種目、演技特有の技能を身につける。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト
2学期	水泳	・水泳 クロール 平泳ぎ 15分間泳（遠泳）	○	○	○	○	a:水泳の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止め、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって水泳を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。 d:技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト
3学期	陸上競技 器械体操	・陸上競技 長距離走 ・器械体操	○	○	○	○	a:陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしている。 b:陸上競技を生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり方を見付けている。 c:ペースの変化に対応するなどして走ることができる。 d:陸上競技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断　c:運動の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。

学校番号	120

令和3年度　　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅠ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「スポーツⅠ」における、採点競技や測定競技は、それぞれの競技に定められたルールや条件、また規制がある条件下の中で、競技の出来栄えや時間、距離、評価を競い合う特性があると言える。したがって「スポーツⅠ」は個々に適した目標や課題を自ら適切に設定する事により、その課題を克服するために練習を取り組み、その課題を解決する事による達成感を手に入れて欲しい。

２　学習の到達目標

採点競技及び、測定競技の専門的なルールや競技の理解と、個人種目における高度な技能習得を目指した主体的・合理的・計画的な実践や思考を通して、自らにおける課題解決や失敗から得る事を通して、将来的には生涯を通してスポーツの振興発展にかかわる事が出来る資質や能力を育む。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	採点競技及び測定競技を通じて、勝敗の冷静な受け止め、規制の中でのルールの必要性、個々の自己解決能力の育成や仲間同士の合意形成が出来るようにする。また、危険を予見し回避行動がとれるようにする	課題の設定や情報の分析及び適切な取捨選択、自他の活動評価、目標の修正や練習計画の組み立てが出来るようにする	採点競技及び測定競技の楽しさや喜びを実感すると共に、個々の能力や適性に応じて種目、競技を選択し、自己の能力を最大限に発揮し、専門的技術と視野を習得させる	技術や競争における、作戦・技術・泳法の高め方や、合理的且つ効率的な練習計画の組み立て、審判法や競技会の企画・運営等、競技者のみならず運営者の見解も理解する事が出来る
評価方法	受講態度の観察 技能観察 技能テスト	受講態度の観察 技能観察 技能テスト	受講態度の観察 技能観察 技能テスト	受講態度の観察 技能観察 技能テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学 期	器 械 体 操	・器械体操 接転技 ほん転技 発展技 演技構成	○	○	○	○	a:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めること、よい演技を讃えようとすること、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:各種目の特性に応じた、各種目、演技特有の技能を身につける。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト
2 学 期	水 泳	・水泳 クロール 平泳ぎ 背泳ぎ バタフライ 15分間泳（遠泳）	○	○	○	○	a:水泳の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止め、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって水泳を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。 d:技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト
3 学 期	陸 上 競 技 器 械 体 操	・陸上競技 長距離走 ・器械体操	○	○	○	○	a:陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしている。 b:陸上競技を生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり方を見付けている。 c:ペースの変化に対応するなどして走ることができる。 d:陸上競技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断　c:運動の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。

学校番号	120

令和3年度　　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅠ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「スポーツⅠ」における、採点競技や測定競技は、それぞれの競技に定められたルールや条件、また規制がある条件下の中で、競技の出来栄えや時間、距離、評価を競い合う特性があると言える。したがって「スポーツⅠ」は個々に適した目標や課題を自ら適切に設定する事により、その課題を克服するために練習を取り組み、その課題を解決する事による達成感を手に入れて欲しい。

２　学習の到達目標

採点競技及び、測定競技の専門的なルールや競技の理解と、個人種目における高度な技能習得を目指した主体的・合理的・計画的な実践や思考を通して、自らにおける課題解決や失敗から得る事を通して、将来的には生涯を通してスポーツの振興発展にかかわる事が出来る資質や能力を育む。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	採点競技及び測定競技を通じて、勝敗の冷静な受け止め、規制の中でのルールの必要性、個々の自己解決能力の育成や仲間同士の合意形成が出来るようにする。また、危険を予見し回避行動がとれるようにする	課題の設定や情報の分析及び適切な取捨選択、自他の活動評価、目標の修正や練習計画の組み立てが出来るようにする	採点競技及び測定競技の楽しさや喜びを実感すると共に、個々の能力や適性に応じて種目、競技を選択し、自己の能力を最大限に発揮し、専門的技術と視野を習得させる	技術や競争における、作戦・技術・泳法の高め方や、合理的且つ効率的な練習計画の組み立て、審判法や競技会の企画・運営等、競技者のみならず運営者の見解も理解する事が出来る
評価方法	受講態度の観察 技能観察 技能テスト	受講態度の観察 技能観察 技能テスト	受講態度の観察 技能観察 技能テスト	受講態度の観察 技能観察 技能テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学 期	陸 上 競 技	・陸上競技 混成競技	○	○	○	○	a:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めること、よい演技を讃えようとすること、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:各種目の特性に応じた、各種目、演技特有の技能を身につける。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト
2 学 期	水 泳	・水泳 クロール 平泳ぎ 背泳ぎ バタフライ 個人メドレー 水球	○	○	○	○	a:水泳の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止め、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって水泳を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。 d:技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト
3 学 期	陸器 上械 競体 技操	・陸上競技 長距離走 ・器械体操	○	○	○	○	a:陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしている。 b:陸上競技を生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり方を見付けている。 c:ペースの変化に対応するなどして走ることができる。 d:陸上競技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断　c:運動の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。